科目ナンバリング	U-LAS40 20020 LJ26						
授業科目名<英訳>	健康・生命科学入門 Introduction to Biomedical Sciences			担当者所属職名・氏名	薬学研究科　准教授　関根　悠介		
群	健康・スポーツ科目群	分野(分類)	健康・スポーツ科学(発展)	使用言語	日本語		
旧群	B群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・前期	曜時限	金2	配当学年	主として1・2回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

本講義は基礎生物学に関する導入講義であり、主に医薬系学部の生命科学基礎の修得を目的としています。具体的には、高等学校にて「生物」を履修しなかった学生も対象に、医薬系専門基礎科目（解剖学、生理学、生化学など）の履修に向けて必須となる学習事項を中心に概説します。従って、植物、進化や生態系などの高等学校生物学の学習事項に関しては、本講義では取り扱いません。

[到達目標]

１哺乳動物個体の構成に関して細胞、組織および器官レベルの概要を説明できる。
２細胞分裂、個体発生と遺伝の概要を説明できる。
３生体高分子の構造、代謝と機能の概要を説明できる。
４生体恒常性の概要を説明できる。

[授業計画と内容]

１「細胞」細胞の構成、生体膜の機能と細胞の多様性を学習する。
２「細胞と個体①」生物の構成、主要器官の構成を学習する。
３「細胞と個体②」主要臓器の構成と機能、細胞間情報伝達を学習する。
４「生殖と発生①」体細胞分裂と減数分裂を学習する。
５「生殖と発生②」動物の発生、器官の形成を学習する。
６「生物の構成成分①」生体の構成元素、タンパク質の構造と機能を学習する。
７「生物の構成成分②」糖質、脂質、核酸の構造と機能を学習する。
８「酵素と代謝①」酵素反応、酸素と補酵素、糖代謝を学習する。
９「酵素と代謝②」アミノ酸代謝、脂質代謝、核酸代謝を学習する。
１０「遺伝」メンデルの法則、遺伝子と染色体を学習する。
１１「遺伝子複製と発現①」遺伝子の複製、変異と修復を学習する。
１２「遺伝子複製と発現②」遺伝子発現における転写、翻訳を学習する。
１３「恒常性①」生体恒常性、臓器機能による恒常性の維持を学習する。
１４「恒常性②」内分泌系、自律神経系による臓器機能の統合調節を学習する。
１５　フィードバック

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

定期試験（中間試験・期末試験各４５％）および平常点（出席状況など）（１０％）により評価する。

健康・生命科学入門(2)へ続く↓↓↓

健康・生命科学入門(2)

[教科書]

竹島浩編集 『 illustrated 基礎生命科学　第４版』（京都廣川書店）

[参考書等]

（参考書）
特になし

[授業外学修（予習・復習）等]

各講義について講義スライドをLMSにアップロードするので、予習・復習に使用すること。指定教科書についても適宜参考のこと。

[その他（オフィスアワー等）]

学習項目に関する質問などは担当教員への直接コンタクト、またはメールによる問い合わせにて受け付けます。

[主要授業科目（学部・学科名）]

薬学部薬科学科、薬学部薬学科